

天然一粒種からつくる未産卵牡蠣の生産

技術の概要

天然一粒種苗を大量に採集し、管理が楽なカゴ養殖で1年未満で出荷できる養殖技術を開発しました。



樹脂製採苗器を使用することで天然一粒種カキを、効率的に採取。付着物が付きにくい安価なカゴを使った低コスト・省力化の養殖技術を開発。三陸海岸でも1年未満のバージンオイスターとして大量に生産することが可能。

期待される効果

志津川湾産「あまころ牡蠣」

唐桑産「もまれっ娘V0」

高級飲食店へ出荷



- 高価格単価が期待できる（1個当たりの単価はむき身の3～4倍）
- 「あまころ牡蠣」についてはオイスターバー向け出荷体制が定着。
- 通常のカキ養殖施設の一部を使い、1人、約半月の労働力で1万个生産が可能。

【お問い合わせ先】 神山 孝史

国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所

TEL: 0193-63-8121 [代表] E-mail: Kamiyama@affrc.go.jp

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。